



## 武道の心に学び、伸び伸びと

西巨空手道サークルでは小・中学生4人と保護者が礼儀、あいさつ、感謝の心と努力する精神を重んじながら週に2回、稽古に励んでいます。白い空手衣に身を包んだ皆さんは自身の内面と向き合いながら、伸び伸びとした中にも気合いを込め、心・技・体を磨いていました。(6月19日、B&G西巨海洋センターで)

《第62回》  
「あなたの近くの便利なお店」でありたい

### 本荘地域 北陽電機 《石脇字石脇58番地 ☎23-0102》



店主の岩井晃さん(45歳)にお話を伺いました。

■創業から現在まで  
晃さんが小学一年生だった昭和53年に、父親が独立して始めた店。もともと晃さんは別の業種のサラリーマンだったが、父の病気をきっかけに店を手伝うようになり、そのまま跡を継いだ。今は母の洋子さんが経理などをフォローして、家族で店を営んでいる。半径40キロが対応エリアの目安で、

このコーナーでは、市商工会に加盟している市内各地域の「人気のお店」、「頑張る会社」を紹介しています。今回は、本荘地域の「北陽電機」です。



店内には新型の掃除機や保温機などが並びます。知識や技術を増やすための勉強も欠かせないのだとか。

市内はもちろん、北は秋田市、南は象潟まで出向く。人の家で年を越してしまっただエピソードもあり、今となっては笑い話。

#### ■こだわり

仕事のほとんどが、お客さんのお宅での電化製品の設置や修理。昔からのなじみの客も多く、家族構成やライフスタイルを把握しているからこそ、それぞれに合った提案ができるのが強み。その家庭に必要なものまで買ってもらうのではなく、長く快適に使ってもらえるものを買ってもらえるよう、何よりコミュニケーションを大切にしている。もう一つ、フットワークの軽さも地域密着の店には欠かせないこと。依頼があったら待たせないことを心がけている。大みそかに「家電の調子が悪くて」と電話が入って、そのままお客さ

#### ■よろこび

買ってもらったのはこちらの方なのに、設置が終わると「ありがとう、あなたで良かった」と声をかけてもらえるのがありがたい。仲良くなったお客さんが新たなお客さんを紹介してくれるのもうれしい瞬間。

#### ■これから

まちの電機屋が少なくなってきたけど、せっかくなので残していきたい。「あなたの近くの便利なお店」をコンセプトに、困ったことは何でも相談してもらえよう、人と人の付き合いを大事にして続けていきたい

岩井さんのインタビューは、ケーブルテレビで放送されます。番組もぜひお楽しみください。

**北陽電機**  
○営業時間 8:00~18:00  
○日曜定休

「お客さんやメーカーの担当者、同業種の仲間にもいつも助けられている」と繰り返す晃さんと洋子さん二人の謙虚でにこやかな様子を見ると、自然と人が集まって輪が広がっていく様子が目に浮かぶようです。

「来るついでにうどんを買ってきて」などといった仕事以外のちょっとしたリクエストにも「難しいことじゃないから」と快く応じるその人柄が、量販店とは違った根強いファンを惹きつけているのでしょう。



買ってもらった商品をつつ倉庫から車に積み込みます

**読者プレゼント 7/20(木)まで** 広報クイズ 笑売繁盛プレゼントつき!

北陽電機から「LED電球(40形)1個引換券」を5人にプレゼント!  
■応募資格/市内にお住まいの方(応募は1人1通)。クイズの答え(2問)と広報紙に対するご意見や感想など「おたより」を添えてお申し込みください。

事務作業は親子二人三脚

Q1 7月8日・9日に岩城地域で開かれるお祭りは?

1. 旧町祭
2. 旧藩祭
3. 旧村祭

Q2 今年の本荘川まつり花火大会の開催日は?

1. 7月28日
2. 7月29日
3. 7月30日

住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・おたより

〒015-8501 尾崎17番地  
「読者プレゼント」係

※個人情報記載内容の確認、プレゼントの発送のために使用し、この目的以外には使用しません。





# 安全・安心、健康で活力ある

# “由利本荘市”に！

長谷部市長、3期目に当たって

## 「所信」を表明

本市は合併から10年が過ぎ、次の時代を見据えた重要な局面を迎えています。

私は3期目に当たり、これまで以上に現場主義を貫き、行動する市長として、市民の皆さまの生のお聞きしながら緊張感とスピード感を持って、市民の皆さまが安全・安心、健康で暮らせる「活力ある由利本荘市」を切り拓いてまいります。

そこで、その柱として「観光」「環境」「教育」「健康」「雇用」、そして「防災」の5KBを引き続き推進します。

長谷部市長は3期目の市政運営に当たり、市議会6月定例会で「安全・安心、健康で暮らせる『活力ある由利本荘市』を切り拓いてまいります」と決意を込め、所信を表明しました。

# 1

## 地域の特性を生かした 市民主役のまちづくり

市民の皆さまが将来にわたり、安全・安心かつ明るく、健康で暮らせるためには、人口減少対策と地域活力の維持・向上が重要かつ喫緊の課題であります。

そのためには「新創造ビジョン」の着実な実行と、地域コミュニティ機能の活性化が第一であり、「町内会自治会げんきアップ事業」や「地域づくり推進事業」の推進により地域の活力増進、資源の維持、伝統文化の継承などを支援してまいります。

また、財政の健全化は全ての市政運営の基本であることから、今後の合併算定替えの逡巡などによる財源の減少を見据え、市民の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、さらなる行財政改革への取り組みを強化いたします。

開かれた市政の推進につまみしては、行政サービスの向上が不可欠であり、市民目線による市政運営と市民感覚を大切に、職員研修を継続して行うことにより、職員一人一人のスキルアップを目指してまいります。

# 2

## 少子高齢化に対応した 健康・福祉の充実

健康づくりについては「由利本荘アリーナ」などを拠点として、生活習慣病の予防と改善効果が実証されているインターバル速歩を活用し、市民の健康づくりの場となる「健康の駅」を構築するとともに、医療体制の充実を図ってまいります。

また、子育て支援では無料妊婦健診や保育料助成、子育て支援金の支給など、出会いから結婚、子育てなどにわたる切れ目ない支援や育児相談、中学生までの医療費完全無料化などを継続し、安心して子どもを産み育てることができ、支援の充実、環境の整備を推進します。



地域コミュニティ機能を活性化！



子育て支援の充実、子育てしやすい環境づくりに引き続き取り組みます



健康づくりのため、インターバル速歩を推進中！



高齢になっても安心して暮らせるように――



若い人たちの働く場を確保するための産業振興に力を入れます



市議会での市政運営の基本方針を示し、力強く決意を述べる長谷部市長



# 3

## 安全・安心な 住みよいまちづくり

社会基盤の整備については市民の安全・安心のための道路網、鉄道、地域交通、高度情報通信基盤の整備・補修、地域の実情に合わせた雪対策の推進を図るとともに、羽後本荘駅東西自由通路の建設や周辺整備、鳥海ダム建設促進などの社会基盤整備に努めてまいります。

防災減災のまちづくりでは、地域防災拠点となる総合防災公園の整備を進めるとともに、消防分署の整備や消防車両の更新と併せて、同報系防災行政無線の子局増設事業をはじめ、関係機関との「避難行動要支援者名簿」の共有化を実施し、災害弱者の避難行動への協力体制の充実・強化を図ります。

再生可能エネルギーについては、本市の恵まれた自然環境を活用し、風力発電が順次稼働、あるいは計画中であり、太陽光発電については、平成30年に岩城地域において国内有数の規模を誇るソーラー施設が稼働予定であり、加えて、本市沖では世界有数の洋上風力発電事業が計画されています。

今後も再生可能エネルギーの利活用の推進を図るとともに、こうした取り組みを行う企業に対して積極的な支援を進めてまいります。

# 4

## 産業の振興と雇用の創出

農林水産業の振興については、「活力ある農林水産業」の実現を図るため、多様な担い手の育成・確保を進め、競争力の高い農産物や農産加工品の生産振興を図るとともに、「秋田由利牛」「由利本庄米」「鳥海りんどう」などのブランド化の確立を推進し、農家の皆さまが意欲を持って農業経営に取り組みやすいよう支援してまいります。

また、本市の豊富な木材資源を活用し、市内の木工職人や林業関係者、子育て支援団体の新たな活躍の場として、国登録有形文化財の旧鮎川小学校に、子どもから大人まで楽しめる、「(仮称)木のおもちゃ美術館」を、平成30年7月のオープンを目指し整備を進めるとともに、県内外からの誘客に努めます。

商業振興においては、商業活性化に向け、商工会などと連携した



海沿いに並び立つ風力発電施設群

から、戦略的な経営基盤の強化、円滑な事業継承、起業・創業などへ支援してまいります。

工業振興については、企業誘致の推進と既存企業を支援するため、工場等立地促進制度の充実・強化に加え、輸送機などの新分野進出に向けた、人材育成に努めます。

観光振興については、鳥海山をはじめとする本市の多様な観光資源を活用した2次アクセスの構築や地域の特産品・文化を生かした体験型ツアーの開発、鳥海山・飛鳥ジオパークなどの地域資源を活用した滞在型観光の振興に取り組みます。

また、訪日観光については、私自らが向いてのトップセールスにより、台湾からのお客さまは順調に伸びております。一昨年から訪問しているタイ王国からは5月11日、フォレストア鳥海に初めてのツアーが入ったほか、今年10月には、高校生50人による修学旅行が予定されており、今後も積極的に誘客活動を展開してまいります。

また、訪日観光については、私自らが向いてのトップセールスにより、台湾からのお客さまは順調に伸びております。一昨年から訪問しているタイ王国からは5月11日、フォレストア鳥海に初めてのツアーが入ったほか、今年10月には、高校生50人による修学旅行が予定されており、今後も積極的に誘客活動を展開してまいります。

また、訪日観光については、私自らが向いてのトップセールスにより、台湾からのお客さまは順調に伸びております。一昨年から訪問しているタイ王国からは5月11日、フォレストア鳥海に初めてのツアーが入ったほか、今年10月には、高校生50人による修学旅行が予定されており、今後も積極的に誘客活動を展開してまいります。

# 5

## 教育・文化・スポーツの振興と ふるさと愛の醸成

さらに、雇用の創出にあたっては新産業の育成と就業機会の確保が重要であり、個人や中小企業の経営者が新しいビジネスにチャレンジしやすい事業環境づくりや地元での就労およびAターン就労の支援などの、仕事づくり事業の推進に取り組み、本市独自の雇用対策を積極的に推進してまいります。

スポーツ振興につきましては、来月10月オープン予定の「由利本荘アリーナ」を核とし、「スポーツ立市」の推進により市民の皆さまが健康で元気なまちづくりと、国内はもとより、海外からの合宿誘致を行い、スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進します。

また、「全小中学校コミュニティスクールのまち」として、学校、地域、行政が連携し、教育環境の向上を図るとともに、ふるさと愛を育む教育を進めてまいります。

さらには、本年4月に開館いたしました民俗芸能伝承館「まいーれ」の魅力を全国に情報発信し、地域の賑わいづくりに努めながら、

また、「全小中学校コミュニティスクールのまち」として、学校、地域、行政が連携し、教育環境の向上を図るとともに、ふるさと愛を育む教育を進めてまいります。

さらには、本年4月に開館いたしました民俗芸能伝承館「まいーれ」の魅力を全国に情報発信し、地域の賑わいづくりに努めながら、



「木育キャラバン」の催しで笑顔を見せる子どもたち



地域資源を活用し、産業や観光、文化の振興を推進



長谷部市長を視察する斎藤パラ園

芸術文化の振興と文化財保護の推進に取り組みます。

私は、これら5つの柱と、22項目を3期目の公約とし、福祉の増進とインフラ整備はもとより、地域資源を活用した観光振興や若い人たちの働く場を確保するための産業振興に力を入れ、市民の皆さまの声を聞きながら、計画性とスピード感を持ってしっかりと対応してまいります。

今後の市政運営におきましても、私の政治信条である「太陽の光は平等に地球上にそそいでいる。高貴な花にも野菊にも、そして忘れられたかのような雑草にも。人間は平等でなくてはならない」を念頭に置きながら、本市の最大の課題である「人口減少に歯止めをかける」べく、市民が明るく、安心して住み続けられる環境づくりをさらに前進させるために、強いリーダーシップと決断力を持って山積する課題に立ち向かう決意であります。

市民の皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます、所信表明とさせていただきます。





首都圏への市産品の売り込みを加速します



### 3 移住定住と地域ブランドの形成

移住定住対策では「仕事」や「住まい」などの移住希望者のニーズに寄り添い、丁寧な相談を重ねてきた結果、現在まで38組74人の方の移住が実現しています。諸施策を継続しながら、移住希望者の就職活動がよりスムーズに行えるよう、面接時の交通費助成を新たに行うほか、移住創業希望者への専門家による出張相談なども実施します。

「物産の販路拡大」については由利本荘フェアなどに加え、地域ブランド形成のため、「まるごと売り込み連携協定」や「地方創生包括連携協定」の締結により日本酒や蜂蜜、コメ、アスパラガスが首都圏のスーパーマーケットで販売されているほか、山菜やリンゴも定期出荷されており、食品卸、飲食店などの取り引きも拡大しています。こうした取り組みを加速し、本市農産物などの高付加価値化を推進するため、加工品開発にも着手します。

また、首都圏との取り引きのための「集出荷窓口や決済の一元化」を進め、集出荷体制確立支援員を中心に流通体制の整備を図るなど、一層の販路拡大を推進します。

### 4 産業・観光振興と雇用の確保

工業振興については、地域内企業の支援とともに、新たに「新分野進出技術者研修会」を実施し、特に成長が見込まれる分野の人材育成を支援します。

商業振興については事業者の設備投資や起業・創業を促進するとともに、「就業資格取得支援助成事業」などにより再就職や地元定着を支援します。

観光振興については、鳥海山などの豊かな自然、番楽をはじめとした民俗文化など、多様な観光資源を生かした観光振興を推進するとともに、庄内地域との連携を強化し、広域観光振興を推進します。

「鳥海山・飛島ジオパーク」についてはガイドの養成や看板の設置、ツアーの実施や学習発表会など、観光、産業、教育への活用を推し進めます。

農林水産業振興策の米対策では、ブランド米確立に向けた「由利本荘米」の需要拡大のため、減農薬栽培「あきたエコライス」と「土づくり実証米」を組み合わせた安全・安心かつ良食味米生産への

助成や首都圏でのブランド力向上対策など、高品質米生産と販売促進への取り組みを支援します。

園芸作物の振興については、鳥海地域の「園芸メガ団地整備事業」への支援が最終年度を迎え、JA秋田しんせいが整備する「花き集出荷施設」も完成予定です。「鳥海りんどう」「アスパラガス」などの出荷の飛躍的な向上に期待しており、今後も地域特性を生かした産地づくりを推進します。

畜産については、畜産農家が安心して営農の継続や規模拡大が可能となるよう畜舎の増改築や優良な素牛導入などへの支援に加え、認定農業者以外の小規模農家による維持・拡大に対し支援します。

森林・林業については、民有林造林促進事業への支援や市有林管理事業による施業管理を実施し、林地の健全化と景観保全に努めます。水産業については漁港のインフラ整備を図るとともに、漁業者と一体となった水産資源の活用に取り組みます。

また、本市では18年ぶりの開催となる「県種苗交換会」については、本荘由利地域の魅力を広く発信するため、関係機関と連携し取り組みます。

人口減少時代を迎え、国勢調査の結果、本市の人口は8万人を割り込みました。また、本県は本年4月1日現在の人口が100万人の大台を割り、今後も減少が続くことは避けられない状況です。本市では総合計画「新創造ビジョン」に基づき「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定し、「人口減少に歯止めをかける」という大きな課題に取り組んでいます。一層の危機感を持ってこの難題に立ち向かっていかなければなりません。

そのために「産業集積の強靱化と雇用創出」「子どもを産み育てやすい環境の創造」「生きがいあふれる健康長寿社会の形成」「ふるさと愛の醸成と地域コミュニティの再生」の4つの柱のもとに、各施策を積極的に展開し、人口減少社会、少子高齢化などの課題解決を目指します。

財政について、平成29年度当初予算を骨格予算として編成したことから、市民生活に直結する防災関係や道路補修費をはじめ、観光振興、子育て環境の整備など、市民の皆さまの声を念頭に置き、肉付け予算を編成したところです。

### 1 総合戦略と財政

歳入面につきましては、普通交付税の合併算定替えによる加算額が5割減の年になることから、ますます厳しい状況になります。

歳出面では、総合計画「新創造ビジョン」や「総合戦略」に基づき、雇用対策や子育て支援の充実をはじめとする人口減少対策などについて、地域の特性を生かしたメリハリのある予算を編成したところです。

今後は財源の減少を見据え、持続可能な財政構造を確立していくため、行財政改革の取り組みを推進します。

### 2 総合防災公園整備事業

総合防災公園整備事業については、平成27年12月から進めてきた「由利本荘アリーナ」の建設工事が順調に進んでおり、5月12日時点で進捗率が約50%となっています。引き続き事業を継続し、屋根工事をはじめ、外装工事や内装工事、設備工事を実施するとともに、並行して「屋根付きグラウンド」建設工事や外構工事などの関連工事も進めながら、アリーナの平成30年6月完成、10月オープンを目指して整備に取り組みます。

施設の管理運営については「指定管理者制度」導入を予定しており、年内中の手続き完了を目指します。

また、昨年11月に設立した「由利本荘市スポーツ・ヘルスマニッシュ」では、「由利本荘アリーナ」をはじめとする本市スポーツ施設を活用した、全国・東北・全県規模の大会の開催や、合宿などの誘致活動を展開しており、会員団体や関係機関との連携強化を図りながら、スポーツと健康を通じた交流人口の拡大や、地域経済の活性化につなげます。

工事が進む総合防災公園（5月31日撮影）



# 施政方針



各地域の道路整備や補修、地域の実情に合わせた除雪作業による冬季交通確保に努め、長寿命化修繕計画に基づく橋梁などの点検と機能保全工事を実施します。また、防犯灯のLED化については、事業計画の前倒しを行い、年度内に全地域の未実施箇所を一括して更新します。



地域の発展担う社会資本を整備

## 7 社会資本と環境整備

「住宅リフォーム資金助成事業」については昨年度に子育て世帯や、移住・定住世帯が居住する持ち家のリフォームに対し、さらに手厚い助成を行う制度へと見直しを行っており、地域定住や移住・転入の促進につながるよう、継続実施します。

水道事業については、簡易水道と上水道を経営統合したことから、施設の管理や水質管理の徹底と経営基盤の強化を図ります。

ガス事業については、地元由利原から産出する環境に優しい天然ガスの利用を積極的に提案し、新規需要の獲得と保安対策に万全を期し、効率的な事業運営に努めます。

下水道事業や農業集落排水事業については、整備区域の拡大、処理施設の機能強化工事や実施設計・計画の策定などに取り組みます。

羽後本荘駅周辺の整備については、昨年に国の補助事業採択を受けて実施設計を進めているところであり、本年度は駅東広場の用地補償を進めます。

ケーブルテレビ事業については、加入促進に努めながら、民間への運営移行を調査・検討します。

災害時において住民の生命を守るためには、避難をはじめとする災害関連情報が迅速かつ確実に伝達されなければならない、その重要性を近年の災害であらためて強く認識したところです。

このため、2カ年継続事業として、同報系防災行政無線の子局増設事業に着手し、本年度は鳥海地域、来年度は矢島、西目地域の防災放送の屋外伝達エリアを拡大します。

さらに、避難誘導対策として町内会や消防、警察など関係機関との「避難行動要支援者名簿」の共有化事業を実施し、災害発生時の独居高齢者や障がいを持つ方々など、災害弱者の避難行動への協力体制を強化します。

地域の防災拠点である消防分署の整備については大内分署の建設工事に着手し、年度内の竣工に向けて整備を進めます。

さらに、消防車両の更新や消防団員への安全装備品の配備、また、耐震性貯水槽の整備や消防格納庫の建て替えなど、施設や装備についても充実強化を図ります。



安全・安心の要、消防・防災機能を強化

## 5 消防・防災

# 施政方針

## 8 地域コミュニティの再生

地域コミュニティを取り巻く状況は、少子・高齢化や人口減少に伴う担い手となる人材の減少と生活様式の多様化などにより、経済活動、地域資源の維持、伝統文化の継承が難しくなっています。

4年目になる「町内会自治会げんきアップ事業」については、まち歩きや事例学習会、視察研修会などを通じて地域の将来ビジョンづくりを支援するとともに、「地域づくり推進事業」により実践活動を後押しします。

また、「まちづくり協議会」については各部会で独自のテーマについて自主的学習の場を設け、まちづくりの議論を行っています。こうした取り組みを通じ「協働によるまちづくり」を推進するとともに、住民自治の課題について研究を継続します。

公共交通については「地域公共交通網形成計画」に基づき、鳥海山ろく線への支援や助言、生活バス路線の維持確保、市コミュニティバスの運行に

継続して取り組むほか、乗合タクシーなどの運用についても調査・研究し、「生活の足」の確保と交通空白域の解消に努め、地域住民の意見を集約し、実情に沿った持続可能な公共交通体系の構築を関係機関と連携し推進していきます。

市からの情報発信については、広報紙やケーブルテレビなどの活用にも努めるとともに、ホームページの全面リニューアルによる魅力ある情報の発信と移住・定住プロモーションの促進を目指します。

行政課題が高度化・複雑化していく中、さまざまな要望やご意見に的確に対応し、満足度の高い公共サービスを提供するためには、市職員自らが常に市民の皆さまとともに汗を流し、市民感覚を大切に、自己研鑽することが求められています。

このため、職員の資質向上とスキルアップを図るとともに、適材適所の人事管理を行い、市民から信頼される職員を育成します。

教育については、「総合教育会議」を引き続き開催し、「教育に関する大綱」に基づいた教育環境の充実を図り、より一層教育行政の推進に努めます。

(具体的な施策は教育長の「教育方針」(10頁)で後述)

健康福祉については、成人保健関係において新たに「がん患者医療用補整具等購入費補助事業」を開始し、がん患者の社会参加、療養生活の質の向上を支援します。また、各種検診の受診率の向上や生活習慣病の予防、改善と併せ、市民の継続的な健康づくりの拠点となる「健康の駅」の構築を目指します。

母子保健関係では妊婦健診や乳幼児健診など、きめ細かな対応を図るとともに、ロタ、成人風疹予防接種、不妊治療事業を継続し、子どもを産み育てやすい環境の整備を図ります。

地域医療については医師の確保・定着を図りながら、地域の中核病院である由利組合総合病院の充実を支援するとともに、市民の医療を受ける機会と安心の確保に努めます。

国民健康保険事業は平成30年度から県が運営主

## 6 教育・文化・健康福祉

体となることから、スムーズな移行を図ります。

子育て支援については、市の8保育園を「社会福祉法人由利本荘保育会」に移譲し、4月から同法人が運営しています。市内全ての保育園が私立となりましたが、今後も「安心して子どもを産み、育てられる環境づくり」のため、保育所・学校・地域・関係機関と連携し保育環境の充実に努めます。

高齢者福祉については、「地域支え合い推進員」を配置し、住民が主体となって高齢者を地域で支え合う仕組みづくりを推進するほか、「介護支援ボランティア制度」の普及や「認知症初期集中支援チーム」の構築を推進します。

障がい者福祉については、平成30年度からの第5期障がい者福祉計画の策定に取りかかるとともに、相談支援業務のさらなる強化を図ります。



# ふるさと愛に満ち、創造性あふれる人づくり

## 佐々田教育長が「教育方針」を説明

佐々田教育長は市議会定例会で「教育方針」を述べ、本年度の教育行政の目標や方針を説明しました。要旨は次のとおりです。



平成27年に施行された、新教育委員会制度に基づく「総合教育会議」は、市長と教育委員会との連携を強化し、教育施策の方向性を共有して、まちづくりを推進する上で非常に重要な会議です。

教育委員会ではこの総合会議を通して連携を深め、「教育に関する大綱」に定める、「ふるさと愛に満ち、創造性あふれる人づくり」を目指して、「地域力を生かした学校づくり」と学校力を生かした地域づくり、「進取の気性を育む学校教育の推進」「生涯学習の推進」と地域活動の活性化、「芸術文化の振興と文化財保護活動の推進」「スポーツ立市の推進」「教育施設等の整備と充実」の6項目の推進に向け、力強く進めてまいります。

### 進取の気性を育む 学校教育の推進

初めに、学校教育については「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成」を目標に掲げ、市内約5570人の幼稚園児・児童生徒の「豊かな心と感性の醸成」、「確かな学力の形成」に努めてまいります。

特に本年度は、小・中学校においては次期学習指導要領改訂を見据え、社会状況の変化に対応できる、次代を担う児童生徒の育成に向けた取り組みを充実します。中でも、「アクティブ・ラーニング」のフィールド校になっている西目小・西目中学校、英語教育拠点校の由利小・由利中学校の取り組み

を全市に拡大することにより、主体的・能動的な力を付けさせるなど、新たな時代のニーズに応じた教育に努めたいと考えております。

### 地域力を生かした 学校づくり、 地域づくり

現在推進している「コミュニティ・スクール（CS）」につきましては、昨年1200人の参加を得て開催した、全国コミュニティ・スクール研究大会の成果を踏まえながら、「全小中学校CSのまち」として、これまで以上に、地域、保護者、学校、行政の連携を図るとともに、「地域住民の学校運営への参画」「地域力を生かした学校支援」「学校力を生かした地域づくり」をより一層進めてまいります。



地域と学校が連携し、たくましい子どもを育成

スポーツを通し、躍動と活力あるまちづくりに努めます。

### 生涯スポーツの振興

生涯スポーツの振興においては、市民一人一人が生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できるよう、「チャレンジデー」への積極的な参加を推進するとともに、スポーツ推進委員や各競技団体と連携し、ビーチボール教室、ニユースポーツ教室を新たに開催するなど、スポーツに触れる機会の創出を図り、スポーツ・レクリエーション活動の普及、定着に努めます。

### 競技スポーツの振興

競技スポーツの振興においては、各競技団体と連携を図り、指導者育成に加え、子どもたちが「夢」を持ってスポーツに打ち込めるよう、プロ選手やスポーツ振興大使などのトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、より一層の競技力の向上に努めてまいります。

本年8月には本市で「東北地区総合体育大会」のソフトボール、ライフル射撃、銃剣道競技が開催され、9月には「ねりんピック秋田大会」のソフトボールと剣道競技、「全州市町村交流レガッタ」が開かれるなど、例年にも増して全国の役員、選手、多くの市民の皆さんがスポーツによる交流を深め合うことが期待されます。

体育施設整備については、西目サッカー場管理棟外壁修繕や鳥海球場の内野整備、サンスポーツランド岩城テニスコートと野球場の改修設計業務などを実施します。

また、本年度も、平成27年に締結した大阪府箕面市との教育協定に基づき、中学生の交流事業を通して英語教育や生徒会活動の活性化を図るなど、継続して事業に取り組みます。体験型の科学・理数教育についても、教員OB、大学教員、地域人材などを積極的に活用し、「ホットヒート科学の心事業」や「科学フェスティバル事業」などを充実した内容で実施します。

さらに想像力の発揮に欠くことのできない「読書活動」の充実に向け、「子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、図書館、学校が一層連携・協力し、読書活動の推進に努めてまいります。

生徒指導については「いじめ防止基本方針」を徹底するとともに、教職員には子どもを常に観察する目を持ち、子どもに寄り添い、教え導く教師としての姿勢を堅持し、「いじめを決して許さない」という毅然とした態度で臨み、子どもの個性を最大限伸ばす教育活動の推進に努めます。

また、特別な支援を要する子どもを対象とした教育支援についても就学前の幼児・保護者に対して関係各課との連携を深め、引き続き相談や支援の充実を図ります。

現在、公立幼稚園として運営している西目幼稚園については、平成30年4月からの民営化に向けて準備を進めており、スムーズに移行できるよう協議を進めます。

なお、昨年度は本市教育委員会と市内小・中学校に、全国から県・市議会議員をはじめ、県教育長、大学関係者や教職員など57団体

### 芸術文化の振興と 文化財保護活動の推進

次に文化財保護については、貴重な文化遺産を次世代に確実に引き継ぐため、日本海側で最も古い「菖蒲崎貝塚」の国史跡指定を視野に入れた保存について、関係機関との協議を継続的に進めます。

市指定史跡では「由利仲八郎政



民俗文化の魅力を全国へ発信します

春終焉の地」整備に向けた調査や協議とともに、大内地域「オノ神遺跡」の発掘調査と記録保存のほか、天鷲村の有形文化財「鶴沼家住宅」の保存修理を実施します。

さらに、本荘郷土資料館については、開館後35年が経過し老朽化も進んでいることから、多くの出土遺物や民俗資料の収蔵・活用を視野に入れながら、本市にふさわしい「歴史文化拠点施設」の在り方を検討してまいります。

民俗芸能を中心とする無形民俗文化財については、4月に開館した民俗芸能伝承館「まいーれ」を伝承拠点とし、芸能公開を通して

約2千人の関係者が学校視察・行政視察に来訪し、児童生徒の学ぶ姿勢や教師の指導状況を観察され、本市の教育の取り組みに高い評価をいただいております。

また、昨年10月に鶴舞小学校で開催された国立教育政策研究所の「教育課程指定事業」による公開研究会と、11月に由利小・由利中で開催された「英語強化地域拠点事業」には県内はじめ、全国の小中学校から合わせて500人もの先生方に参加いただきました。本年度も7月1日に西目小・西目中で開催する「アクティブ・ラーニング公開事業」や、9月に由利小、10月に由利中で開催する「外国語教育強化地域拠点事業公開研究会」など、全国規模となる公開事業や視察の受け入れを通じ、児童生徒や教師に一層の自信と誇りを持たせ、子どもたちの健やかな成長と学力の向上に努めます。

### 教育施設整備と充実

教育環境の整備については、西目中学校大規模改修工事をはじめ、市内各小中学校の修繕整備に努め、由利中学校の大規模改修工事に向けた実施設計に着手するなど、計画的な教育環境の整備を進めます。

また、児童の減少や新たな教育活動に対応し、本荘地域の小学校再編に向けて検討を進め、今後あるべき適正な学校環境の整備を実施してまいります。

さらに、学校給食の一層の安心安全、安定的な提供と業務の効率化を図り、食育の充実にも対応するため、本年度は「北部学校給食センター」建設に向け、準備を進めます。

さらに、市内全域に伝承されている「獅子舞番楽」については、文化庁の指導を直接受けながら、「鳥海山北麓の獅子舞番楽記録作成事業」を継続実施するほか、「環鳥海山」の広域的な視野に立つて関係自治体と連携し、継続的に文化財の調査や情報発信を行い、歴史的資産の保存と活用に努めます。

芸術文化の振興については、子どもたちの「生きる力」や「感動する心」を養うため、継続して、劇団四季による「こころの劇場」や「芸術鑑賞教室」を開催し、優れた舞台芸術に触れる機会を創出します。

また、平成26年に開催した国民文化祭の成果を継承し、「人形劇フェスティバル」を本年度も市民参加型で開催するほか、「地域文化活動公演」を開催し、市民の活動意欲の高揚を目指します。

さらに、本荘由利圏域の優れた芸術作家による「由利本荘美術展」を開催し、文化力のさらなる飛躍と芸術文化の向上に努めます。

加えて、芸術文化協会や文化財保護団体など、各種団体が行うさまざまな市民文化活動を支援し、芸術文化活動の盛んな、「文化の香り高い、ふるさと愛に満ちた風土づくり」に努めます。

市の教育行政についてご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 生涯学習の推進と 地域活動の活性化

生涯学習・社会教育の推進では「第3次生涯学習推進・社会教育中期計画」に基づき、市政に係る身近な生活課題の学習のほか、自主的な学習活動の支援、各種講座・教室などの充実を図ります。

生涯学習奨励室や生涯学習奨励員との連携を図り、「移動ブルーの窓口」の開設や「生涯学習創作展」「生涯学習発表会」など、学びの成果を披露する機会を設け、市民の学習意欲の喚起と、学習活動に取り組む「きっかけ」づくりを進めます。

また、各学校と地域との連携、調整役を担う「学校ボランティア」や「コーディネーター」の方々が、引き続き放課後の子どもたちの活動や学校行事などの場で、それぞれの力を生かし、地域全体で学校を支え、子どもたちを育てる機会の拡充に努めます。

### スポーツ立市の推進

さらに、国庫補助事業として「学習習慣の確立」、「基礎学力の定着」を目的に、長期休暇期間などに自学形式による学習支援の場として（仮称）「学ぶんスペース」を開設するとともに、一体型の「放課後子ども教室」にタブレット端末を配置し、情報化社会に対応できる子どもの育成にも努めます。

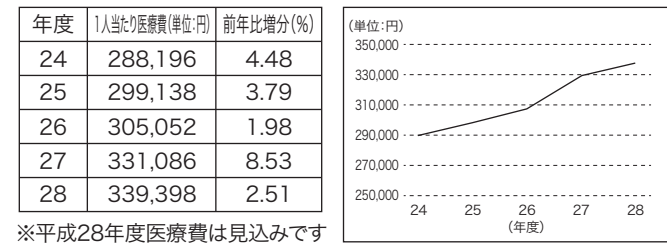
図書館や公民館など、社会教育施設の運営にあたっては、読書活動や各年代に適した講座・教室の充実にも努め、特に、「環境」「防災」などの市民生活に密着した課題に加え、自然との共生や地域創生を目指し、「鳥海山・飛鳥ジオパーク」のジオサイトを学習素材にした事業を展開してまいります。

スポーツで、躍動と活力あるまちに





1人当たり医療費の推移



※平成28年度医療費は見込みです

医療費の削減にご協力をお願いします

【改正前】平成28年度税率	所得割	均等割	平等割	課税限度額
基礎(医療分)分	7.9%	18,000円	26,000円	54万円
後期高齢者支援金分	2.6%	9,500円	-	19万円
介護納付金分(40~64歳)	2.8%	14,000円	-	16万円



【改正後】平成29年度税率	所得割	均等割	平等割	課税限度額
基礎(医療分)分	8.6%	22,500円	26,000円	54万円
後期高齢者支援金分	2.7%	11,800円	-	19万円
介護納付金分(40~64歳)	2.8%	14,000円	-	16万円

(※本年度の納税通知書は7月中旬にお届けします)

【改正前】平成28年度

区分	軽減判定所得
7割軽減	33万円
5割軽減	33万円+(26万5千円×被保険者数)
2割軽減	33万円+(48万円×被保険者数)



【改正後】平成29年度

区分	軽減判定所得
7割軽減	33万円
5割軽減	33万円+(27万円×被保険者数)
2割軽減	33万円+(49万円×被保険者数)

問い合わせ先  
税務課国保税班  
24-6306

問合わせ先  
生活環境課  
24-6253

問合わせ先  
生活環境課  
24-6253

問合わせ先  
生活環境課  
24-6253

**改正理由と変更内容**  
市では、4年間税率を据え置いて国民健康保険財政を運営してきましたが、加入者の高齢化や医療の高度化などに伴い、1人当たり医療費が増大するなど単年度収支では赤字が続いています。

国民健康保険は助け合いの制度です。加入者の医療費は、加入者の皆さんに負担いただく国民健康保険税と国・県・市の公費で成り立っています。

財源不足は基金を取り崩すなどして補っておりますが、今後さらなる不足が懸念されることから、やむを得ず税率の引き上げを行いました。

加入者の皆さんにはご負担をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

**軽減される場合があります**  
●低所得者の方は、均等割額と平等割額が、7割、5割、2割の段階で軽減される場合がありますが、このうち5割と2割の軽減範囲が拡大され

1 国民健康保険税の税率を改正しました

ました。前年中の世帯合計所得金額が左表の軽減判定所得以下の場合に軽減されます。

●倒産、雇止め、解雇などによる雇用保険特定受給資格者などの方は、前年の給与所得を100分の30とみなして算定する軽減が2年間受けられます。ハローワークから「雇用保険受給資格者証」が交付されましたら、その写しを添えて税務課または各総合支所振興課に申請してください。

●災害などのため納付が困難な方は、申請により減免されることがあります。

2 空家等を所有する方は適正な管理を行いましょ

市では「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき「由利本荘市空家等の適正管理に関する条例」を施行しております。

この条例では「所有者等は、空家等が周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう自らの責任において適正に管理しなければならぬ」と規定され、所有者等が自らの責任により適切に対応することが明確化されています。安全に安心して暮らせるまちづくりの推進のため、空家等を所有・管理している方は適正な管理を行いましょ。

自己の所有している空家等は定期的な見回りや管理を行い、遠方に在住などで管理が困難な場合は、業者に委託するなど所有者等としての責務を果たすことが必要です。

◇「空家等」とは？  
家屋などの建物、塀や門などの工作物で、おおむね1年以上人の居住や出入りがなく放置されている状態およびその敷地(立ち木などの土地に定着するものを含む)をいいます。

◇「所有者等」とは？  
市内に所在する空家等の所有者、占有者、管理人、所有者の相続人、相続財産管理人をいいます。



事業名	事業費(千円)
中小企業融資斡旋資金事業	40,000
地元定着・雇用創造促進事業	30,243
就業資格取得支援助成事業	2,000
新分野進出支援補助金	1,000
創業支援補助金	3,000
種苗交換会開催事業	45,000
まるごと売り込み事業	8,209
集出荷体制推進事業	4,942
園芸メガ団地整備事業	46,733
農業経営発展加速化支援事業	32,064
由利本荘米ブランド支援事業	2,651
農業夢プラン事業	76,091
周年預託施設整備事業	7,000
秋田由利牛生産基盤整備事業基金	42,963
農業基盤整備促進事業	24,938
小規模畜産経営維持拡大支援事業	5,000
機構集積協力金交付事業	36,280
中山間地域等直接支払交付金事業	482,744
多面的機能支払事業	447,982
水と緑の森づくり税事業	36,634
林地台帳整備事業	10,000
林道点検診断・保全整備事業	9,100
水産物供給基盤機能保全事業	20,100
ふるさとさくら基金事業	76,937
鳥海山等観光振興事業	5,378
鳥海山・飛島ジオパーク推進事業	13,020
イベント開催事業	6,566
ぼぼろっこ西棟熱源設備更新事業	41,000
道の駅東由利「湯楽里」関連施設整備事業	36,600
矢島鳥海サテライトセンター整備事業	156,000
本荘清掃センター運転管理業務委託事業	35,890
新ごみ処理施設整備事業	10,239
住宅リフォーム資金助成事業	56,165
公営住宅改修事業	57,330
公園施設長寿命化事業	17,600
移住・定住促進事業	13,865
公共下水道事業(本荘処理区)	650,805
内越第一地区農業集落排水事業(機能強化)	248,774
嶺山浄水場改良工事	371,158
防災公園整備に係る配水管布設替工事	91,141
道路改良工事に伴う配水管布設替等工事	176,201
ガス経年管更新事業	73,289
下水道工事に伴うガス管移設工事	61,463
橋梁長寿命化修繕事業	176,000
羽後本荘駅周辺整備事業	321,376
由利高原鉄道運営補助事業	86,900
生活バス路線等維持事業	121,491
コミュニティバス運行事業	124,745
同報系防災行政無線屋外拡声子局増設事業	106,629
由利本荘総合防災公園整備事業	2,718,936
本荘消防署大内分署消防庁舎建設事業	187,075
消防防災施設整備事業	81,300
消防水利整備事業	99,994
防犯灯LED化事業	287,000
健康の駅ネットワークを活用した地域活性化プロジェクト事業	7,986
消化管がん予防・検診・治療学講座	14,000
母子保健事業	63,874
民間保育園改築事業	188,179
敬老会開催事業	19,883
家族介護手当支給事業	11,416
第30回全国健康福祉祭あきた大会開催事業	30,000

事業名	事業費(千円)
介護予防・日常生活支援総合事業	47,214
介護支援ボランティア事業	5,750
地域密着型介護施設整備事業	111,525
矢島老人福祉センター寿康苑設備改修事業	19,500
介護給付・施設訓練等給付事業	1,533,908
障がい者医療費	98,202
地域生活支援事業	106,529
生活保護費	1,273,772
由利中学校大規模改修事業(実施設計)	3,700
北部学校給食センター建設事業(実施設計等)	20,000
学校生活サポート事業	59,097
学校司書配置事業	15,928
スクールバス更新事業	3,596
放課後子ども教室一体型の推進に係る設備整備事業	13,005
西目公民館大規模改修事業	11,060
図書等整備事業	13,000
(仮称)木のおもちゃ美術館整備事業(整備工事費・関連事業)	126,144
(おもちゃ列車等整備事業)	20,000
岩城屋内運動場・岩城プール解体事業	18,160
西目カントリーパークサッカー場大規模改修事業	32,320
スポーツ立市推進事業	1,770
全国市町村交流レガッタ由利本荘大会負担金	10,000
国体東北ブロック大会兼東北総体補助金	2,500
国際交流事業	7,668
コミュニティ施設事業	8,938
住民自治活動支援交付金事業	17,487
地域づくり推進事業	27,408
大内総合支所改築事業	401,287



活力ある農林水産業の実現を目指して

住民要望に応え、防犯灯LED化や道路維持費の追加、同報系防災無線と教育施設の整備などを重点施策とした6月補正予算が成立

一般会計・各特別会計予算 (6月末日現在・千円)

一般会計	46,264,091
国民健康保険	10,599,733
後期高齢者医療	777,704
診療所運営	360,063
休日応急診療所	10,883
情報センター	440,803
奨学資金	72,554
介護サービス	44,565
下水道事業	2,971,953
集落排水事業	2,310,873
スキー場運営	159,196
小友財産区	5,010
北内越財産区	16
松ヶ崎財産区	916
水道事業	4,366,040
ガス事業	1,559,352



3

後期高齢者医療の被保険者証(保険証)が新しくなります

後期高齢者医療の新しい保険証(みず色)を、7月下旬に加入者の皆さんへお送りします。8月1日以降は新しい保険証をお使いください。

今までお使いの保険証(むらさき色)

有効期限 平成29年7月31日まで ※8月1日以降は使用できません

新しい保険証(みず色)

有効期間 平成29年8月1日から平成30年7月31日まで(1年間) ※7月下旬にご自宅へお送りします

「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付

平成28年中の所得で、世帯員全員が住民税非課税となる世帯の方は「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けることができます。

後期高齢者医療の保険料決定通知を7月中旬にお送りします

平成28年中の所得に応じて確定した平成29年度の後期高齢者医療保険料をお知らせする通知を、加入者の皆さんにお送りします。

特別徴収(年金からの徴収)となっている方は口座振替に変更できます

後期高齢者医療の保険料は原則として年金から納めていただくことになっていますが、口座振替に変更することもできます。

○交付を受けたことはないが、世帯員全員が住民税非課税の世帯の方は...

交付を受けた方は申請が必要ですが、市民課または各総合支所市民福祉課で手続きをしてください。

市民課医療保険班

お問い合わせ先

☎24-6244

4

福祉医療費受給者証を更新します

福祉医療費受給者証の有効期限が今年の7月31日までの方には、8月1日以降にお使いいただく新しい受給者証を7月下旬にお送りします。

お問い合わせ先 市民課医療保険班 ☎24-6244

5

遊びを見つける おもちゃセミナーを開催します

おもちゃの遊び方は一つではありません。子どもたちの無限の可能性に寄り添う力が、おもちゃにはあります。

申し込み・問い合わせ先 木のおもちゃ美術館整備推進事務局 ☎24-6312



※定員になり次第受け付けを終了します。 ※託児の用意がないため、3歳未満のお子さまとの参加はご遠慮ください。

6

選挙管理委員会 委員・補充員が決まる

5月15日に召集された第2回市議会定例会で、任期満了に伴う選挙管理委員会委員と補充員の選挙が行われ、新委員と補充員の各4人が決まりました。

また、6月7日に開かれた初委員会において委員長選挙が行われ、指名推選の結果、齋藤悟さんが満場一致で選任されました。

○委員 小松 建さん (68歳・東由利館合)



○委員 佐々木八重子さん (64歳・中田代)



○補充員 田口松雄さん (67歳・大内三川)

○補充員 池田治夫さん (67歳・西目町沼田)

○補充員 熊谷 勲さん (68歳・矢島町川辺)

○補充員 阿部芳和さん (64歳・五十土)

○職務代理者 岸野芳夫さん (65歳・岩城内道川)



お問い合わせ先 選挙管理委員会事務局 ☎24-6390

7

まちづくり協議会委員を募集します

市では、市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、各地域に「まちづくり協議会」を設置しています。

申し込み・問い合わせ先 木のおもちゃ美術館整備推進事務局 ☎24-6312

JA秋田しんせい 市内小学校に 街頭指導用品を寄贈



交通安全指導に役立ててほしいと、秋田しんせい農業協同組合(畠山勝一代表理事組合長)から市内全小学校に、交通安全ベストと帽子各2組が寄贈されました。

鳥海山・飛島ジオパーク リレーコラム

「日本海と大地がつくる水と命の循環」

【第31回】 ジオパークと観光客をつなぐ食、ジオの恵み

宮城学院女子大学 宮原 育子 教授



山形県と秋田県の観光統計資料によると、鳥海山・飛島ジオパークに属する酒田市と遊佐町、にかほ市、由利本荘市の3市1町には、年間約1,000万人の観光客が訪れています。



庄内砂丘で栽培されるアンデスメロン▶



◆「市長の行動」報告（5月分）

※市ホームページ「市長室からこんにちは」もご覧ください

5月1日(月)	五役会議 「秋田CARAVAN MUSIC FES」開催発表共同記者会見 市国民健康保険運営協議会
2日(火)	東由利地域行政協力員会議・懇親会 子吉川大規模氾濫時の減災対策協議会
8日(月)	五役・部長・支所長会議 由利地域振興推進会議・懇親会（にかほ市） 市議会全員協議会
9日(火)	定例記者会見 大内地域行政協力員会議・懇親会 （公財）本荘由利産学振興財団理事会
10日(水)	矢島地域行政協力員会議・懇親会
11日(木)	本荘由利電気工事協同組合総会懇親会 市議会定例会本会議（開会） 市観光協会総会・懇親会
15日(月)	東北市長会総会（仙台市）
16日(火)	本荘ゲートボール協会 市長杯親善大会 東北日本海沿岸市町村議会協議会総会・意見交換会
18日(木)	市管工事協同組合総会懇親会
19日(金)	五役会議 由利建設業協会総会懇親会
22日(月)	県選出国會議員・国土交通省・財務省へ要望（東京都）
23日(火)	企業訪問（東京都）
24日(水)	国土交通大臣との鳥海ダム建設事業に関する意見交換
27日(土)	子吉地区敬老会
28日(日)	五役会議 鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会総会（にかほ市）
29日(月)	県・市町村協働政策会議総会（秋田市）
30日(火)	チャレンジデー開会式・チャレンジデーウォーク出発式
31日(水)	

◆市長交際費の報告

◎：代理出席

(1) 甲 事	件 数	支出額 (円)
合計	1 件	25,000

(2) 会費等 (円)

支出日	支出内容	支出額
5月1日	高橋優氏表敬訪問時特産品お土産	3,197
2日	東由利地域行政協力員会議懇親会会費	3,500
2日～4日	丸亀お城まつり参加時特産品お土産	9,000
3日	丸亀お城まつり京極顕彰会等交流会へ寸志 ◎小野副市長	10,000
4日	佐久バルーンフェスティバル・佐久まつり 歓迎夕食会会費◎商工観光部長	5,000
4日～5日	佐久バルーンフェスティバル・佐久まつり 参加時特産品お土産	2,581
6日	石脇地区町内会長連絡協議会総会懇親会会費 ◎阿部副市長	2,000
8日	由利地域振興推進会議懇親会会費	5,000
9日	大内地域行政協力員会議懇親会会費	2,000
10日	矢島地域行政協力員会議懇親会会費	1,000
11日	本荘由利電気工事協同組合総会懇親会へ寸志 タイ王国エージェント訪問団来市時特産品お土産	3,482 4,728
12日	北前船寄港地フォーラムin淡路島レセプション 会費◎総合政策課長	7,000
13日	西部地区町内連絡協議会総会懇親会会費 ◎阿部副市長	2,000
14日	東京東由利会総会懇親会へ寸志◎小野副市長	10,000
15日	市観光協会総会懇親会会費	3,000
16日	市商工会総代会懇親会会費◎小野副市長	5,000



由利一族の遺徳をしのび墓前祭  
子孫の三岡さんが初の墓参に



直系子孫の三岡さん

かつて由利5万8千石の旗頭を務めた由利仲八郎政春の遺徳をしのぶ墓前祭が、6月18日に本市川西の奉行免集落で営われました。本年1月には政春の末裔に当たる幕末の福井藩士・

三岡八郎（由利公正）に係る坂本龍馬の書状が新たに発見され、大きな注目を集めています。この日は公正の直系子孫に当たる三岡慶胤さん（39歳・東京都）も招かれ、家族と初めて墓参。「先祖や郷土の歴史を地域の教育に活用し、後世に伝えてほしい」と話し、地域の皆さん約40人とともに手を合わせました。墓前祭は地区の皆さんによって行われており、同地帯は政春終焉の地として平成5年に市の史跡に指定されています。



きれいな星空のようにと願い込め  
矢島保育園児が「宇宙アサガオ」を植える



星空がきれいな花立牧場公園に「宇宙アサガオ」を咲かせようと、矢島保育園の年長児29人が6月15日、プランターにアサガオの苗を植えました。この事業は、同公園の施設関係者などをつくる「花立牧場公園を元気にする会」が企画しました。「宇宙アサガオ」は、平成22年に宇宙飛行士の山崎直子さんと一緒に宇宙を旅したアサガオの種を矢島地域の宇宙少年団が譲り受けたもので、この日植えられたのは7代目の苗です。

苗を植えた北山愛菜ちゃん「大きな花がお星さまみたいにとくさん咲いてほしい」と夏を楽しみにしていました。



海の恵みとイベント楽しむ  
「第12回西目漁港まつり」



会場ではヒラメの稚魚の放流や魚のつかみ捕り、漁船の遊覧体験など多彩なイベントが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。

第12回西目漁港まつり 月17日、西目漁港で開催されました。

また、今年初めて行われた足こぎボートのタイムトライアルには11チームが出場。参加者は豪華賞品を狙って夢中でボートをこぎ、ゴール近くに差し掛かると観客から大きな声援が送られていました。家族でタイムトライアルに出場した森下和輝君（8歳・秋田市）は「賞品を狙って一生懸命こぎました。とても疲れたけど良いタイムが出せてよかった」と笑顔を見せました。

Event and Sports

18日	東北日本海沿岸市町村議会協議会意見交換会会費	6,000
19日	市管工事協同組合総会懇親会へ寸志	3,480
20日	由利建築士会総会懇親会会費◎建設部長	5,000
21日	ふるさと岩城会総会懇親会へ寸志◎岩城総合支所長	10,000
22日	由利建設業協会総会懇親会会費	5,000
24日	(有)ゆりの里振興社株主総会懇親会へ寸志◎由利総合支所長	3,440
	協同組合東由利ショッピングプラザ総会懇親会へ寸志◎東由利総合支所長	3,460
26日	(株)シオン秋田工場新工場竣工祝賀会へ寸志◎小野副市長	3,456
27日	鶴声会総会懇親会へ寸志◎阿部副市長	3,479
	県・市町村協働政策会議懇親会会費◎小野副市長	5,000
30日	由利高原鉄道由利地域協力会総会懇親会会費◎企画調整部長	2,000
合計		128,803

副市長交際費執行状況 (円)

支出日	支出内容	支出額
5月8日	由利地域振興推進会議懇親会会費 (両副市長出席5,000円×2人)	10,000
合計		10,000

Yurihonjo City Topics

育てよう思いやりの心  
市内5小学校で「人権の花」運動



花を植栽する石沢小の児童

子どもたちが協力して花を育てることで、命の大切さや思いやりの心を育んでもらおうと、全国の小学校などで「人権の花」運動が展開されています。市内では本年度、東由利・石沢・岩谷・小友・鳥海の5小学校がこの運動に取り組み、花の植栽を行いました。このうち、石沢小学校では6月14日、全校児童63人で約210本のサルビアとビクトリアアブルー、マリィゴールドの苗を植えました。小松璃虹さん（石沢小6年）は「みんな元気に健康でいられるようお願いしながら植えました」と話しました。

西目高校PTA  
2市の6駅にプランター設置



生徒たち(右)の指導を受けながら植栽するPTA役員(左)

生徒が通学で使用する駅の環境美化のため、西目高校PTA役員が6月9日、花を植えたプランターを本校・にかほ市の6つの駅に設置しました。この事業は平成9年度から行われており、参加したPTA役員24人は、同校農場で農業系列の3年生11人の指導を受けながら、各駅に設置する花の植栽を行いました。3年生の子どもを持つ役員鈴木伸さん（49歳・前郷）は「地域のために生徒も頑張っているの、何らかの形で協力できればと思います」と話しました。